

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」と当社方針との対応関係

金融庁 「顧客本位の業務運営に 関する原則」	ニッセイアセット「お客様本位の業務運営に係る方針」		
	方針	説明	2022年度具体的取組み
【原則2】 【顧客の最善の利益の 追求】	【方針6】 人材育成・企業文化醸成	【方針6】 で企業文化醸成の取組み実施し、お客様本位の業務運営に係る取組みを従業員に浸透させております。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資格取得奨励等の様々な育成支援制度を通じた高度な専門性を有する人材の育成・確保 ■ 経営課題ミーティングを通じた「お客様本位の業務運営」への意識醸成
	【方針3】 運用	【方針3】 で継続的な運用力強化への取組みとリスク管理の徹底を通じて、最良のパフォーマンス提供に努め、お客様の長期的な資産形成に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運用者が運用に集中するための環境整備等を通じた運用力の高度化 ■ 気候変動に関するインパクトファンドを設定する等、投資判断にESG視点での分析・評価を活用
	【方針1】 商品	【方針1】 で適切なファンドガバナンスを通じて、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。 また、お客様の「長期的」「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ファンドガバナンス協議会」を通じて、中長期にわたりコストに見合ったリターンを提供できているか等の点検・見直し要否の協議を開始 ■ 長期視点でのパフォーマンス検証の結果等を踏まえ、「DCニッセイ国内株式アクティブ」等の繰上償還を決定
【原則3】 【利益相反の適切な管理】	【方針5】 利益相反の適切な管理	【方針5】 で 業務執行部門から独立した利益相反管理統括部署および利益相反管理統括責任者を設置し、利益相反の懸念のある取引の類型を定め、適切な管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利益相反の懸念がある取引の管理が適切に実施されているか、利益相反管理統括部署が定期的に確認。 ■ 利益相反の適切な管理についての取組みが従業員一人ひとりに浸透するよう研修等を実施
【原則4】 【手数料等の明確化】	【方針1】 商品	【方針1】 で お客様にご提供する運用商品、お客様サービスに応じた手数料水準を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 確定拠出年金（DC）向け商品の信託報酬引下げ ・「DCニッセイ国内株式インデックス」 ・「DCニッセイターゲットデートファンド」 ・「DCニッセイ外国株式インデックス」
【原則5】 【重要な情報の分かりやすい 提供】	【方針2】 お客様サービス提供	【方針2】 で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取組みます。 また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ファンドラップ「Goal Navi」に関するお問い合わせに対応したチャットBOTの搭載 ■ 投資情報レポートやファンドマネージャーによる運用状況に関する解説動画の公開等、お客様に合った適時適切な情報提供

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」と当社方針との対応関係

金融庁 「顧客本位の業務運営に 関する原則」	ニッセイアセット「お客様本位の業務運営に係る方針」		
	方針	説明	2022年度具体的取組み
【原則6】 【顧客にふさわしいサービスの提供】	【方針3】 運用	【方針3】で継続的な運用力強化への取組みとリスク管理の徹底を通じて、最良のパフォーマンス提供に努め、お客様の長期的な資産形成に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社のESGファンドの定義やESG投資に対する考え方を定め、開示を充実 ■ 責任投資原則(PRI)の年次評価で高評価を獲得
	【方針1】 商品	【方針1】で適切なファンドガバナンスを通じて、お客様のニーズを的確に把握・予測し、お客様にご満足いただける当社ならではの商品開発を実践します。 また、お客様の「長期的」・「安定的」な資産形成に貢献する商品を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ SDGsシリーズファンドの提供（シリーズ合計10商品、純資産総額1,488億円） ■ 低コストかつシンプルで分かりやすい＜購入・換金手数料なし＞シリーズ（インデックス運用）の商品拡充（22/3月末：13本 → 23/3月末：15本）
	【方針2】 お客様サービス	【方針2】で全役職員がお客様の利益を第一に考えたサービスを提供するとともに、お客様サービスの向上に継続的に取組みます。 また、お客様に最良の選択をして頂けるよう、お客様に合った適時適切な情報提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ■ お客様からの声をもとにしたファンドラップ「Goal Navi」のサービス・機能向上
【原則7】 【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	【方針4】 経営インフラ	【方針4】で 独立社外取締役の招聘により、ガバナンス体制の独立性・透明性を向上させることで、お客様の利益を最優先する取組みを推進していきます。 また、取締役会の委任を受けた「フィデューシャリー・デューティー委員会」を通じて内部統制の体制を強化するほか、「アドバイザリー・コミティ」を通じて社外の有識者の助言を受け、お客様本位の業務運営を推進していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会の実効性向上を目指し、人員構成・構成員数を見直し ■ 「アドバイザリー・コミティ」では、非対面サービス、ファンドラップにおけるサービス改善の取組みや、ESGファンドの定義等の考え方、ESG情報の開示のあり方、サステナビリティ経営への取組み等について意見交換を実施
	【方針6】 人材育成・企業文化醸成	【方針6】で企業文化醸成の取組み実施し、お客様本位の業務運営に係る取組みを従業員に浸透させております。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営層が繰り返し「経営理念」「お客様本位の業務運営」「A Good Investment for the Future」についてメッセージを発信 ■ 金融教育冊子の無償提供、『Beyond SDGs人生ゲーム』等を用いた金融教育等の各種取組みを実施